

(仮訳)

## プレス・リリース

2024年5月13日

中央銀行総裁・銀行監督当局長官グループは、バーゼルⅢの実施に関する合意を改めて表明し、暗号資産に係る基準に関するアップデートを提示

- バーゼル銀行監督委員会（以下「バーゼル委」）の上位機関は、バーゼルⅢの実施の進展を歓迎。
- バーゼル枠組みの全ての要素を完全かつ統合的な形で、かつ可能な限り早期に実施することへの期待を改めて表明。
- 暗号資産に係る基準の実施時期を2026年1月1日に更新。

バーゼル委の上位機関である中央銀行総裁・銀行監督当局長官グループ（以下「GHOS」）は、2024年5月13日に会合を開催した。

### バーゼルⅢの実施

GHOSは、2017年に最終化された未実施のバーゼルⅢ改革について、その実施状況をストックテイクした。バーゼル委メンバーは、実施について、良い進展を続けてきた。約3分の2のメンバー法域は、本年中に、全ての、または大半の基準を実施し、残りの法域は来年までに実施することを計画している。

GHOSメンバーは、バーゼルⅢ枠組みの全ての要素を完全かつ統合的な形で、かつ可能な限り早期に実施することへの期待を全会一致で再確認した。ここ数年の金融市場への一連のショックは、健全な国際規制枠組みを整備することの重要性を改めて強調した。GHOSは、バーゼル委に対して、バーゼルⅢの完全かつ統合的な形での実施を引き続きモニタリングし、評価するよう指示した。

### 暗号資産に係る基準

GHOSはまた、銀行の暗号資産エクスポージャーに関するバーゼル委の健全性基準の実施を1年延期し、2026年1月1日とすることに合意した。

当基準は2022年12月にGHOSによって承認されたものであり、国際的に活動する銀行の暗号資産エクスポージャーについて、責任あるイノベーションを促進しつつ、金融の安定性を維持する、頑健で健全な国際規制枠組みを提供する。

バーゼル委は、暗号資産市場の動向に関する継続的なモニタリングの一環として、2023年12月に一連の的を絞った基準改訂について[市中協議](#)を行った。その基準について何らかの改訂を行うか否かについて、今年後半に議論する予定である。

実施日の改訂は、全てのバーゼル委メンバーが完全、適時かつ整合的な形で基準を実施できることを確保することに資するだろう。